

第4回 簡単な仕掛けとエサで鯉釣りを楽しもう!



「道の駅やちよ」で地図を見ながら新川のポイントを検討するN、S両名人



新川と神田川の合流点、川の流れ込みを攻めることに決定した二人はモジリなどがあるかどうか川の様子を見る

イントを検討するN、S両名人の姿があった。前回の霞ヶ浦釣行では、坂入インストラクターのアドバイスで釣り場を決定したが、釣り場は自分たちの目で見て判断しポイントを決めるのが基本である。釣り具店などの情報はあくまで参考にとどめて置くことである。

釣り場を数カ所見て回った二人は川の流れ込みが一番という結論に達し、新川と神田川の合流点に釣り場を決定した。その理由は釣り座を探す時に川岸に「鯉将」の空袋を発見! ここは地元の鯉師が攻めているポイントに間違いないと判

鯉仙人のつばやき

ビギナーは釣行前に地図をチェックし、河川や湖沼の地形から釣り場のポイントを予測すると良いでしょう。川の流れ込み、カーブ、ワンド、橋、ドック、水門などが鯉の釣れるポイントです。水深の解る詳しい湖沼図、空撮の釣り場ガイドなどがあるとより具体的なイメージがつかめます。

断したことが、さらに底を探る前に鯉のハネがあったことが、二人に釣り座を決めさせた決定的な要因であった。気温25度、水温26度、風は南風の向か

鯉仙人のつばやき

ビギナーが初めての釣り場を決める時は過去のデータに頼り過ぎないこと。鯉のハネやモジリがあるか自分の目でポイントを確認することです。草が刈ってあったり、鯉の配合エサの空袋が落ちていれば釣り人が攻めた証拠です。(鯉の配合エサの空袋や空き缶などのゴミは必ず持ち帰り、釣り場をいつも綺麗にしましょう)

い風で風速15~16mとかなり強く、やや釣りづらい状況。S名人は新川の主流を攻め、N名人は支流の神田川の吐き出しに竿を出すことに決めた。



川岸に「鯉将」の空袋を発見! ここは好ポイントに間違いないと判断した

第4回

簡単な仕掛けとエサで鯉釣りを楽しもう!

印旛新川編

実りの秋は植物系の配合エサで勝負!



またしても鯉を釣り上げ得意げなN名人

実りの秋は荒食いの季節

サツマイモ、トウモロコシなど植物系の配合エサをメインに、くわせは「くわせコーン」と「手づくり芋」を使って鯉釣りを楽しもうと千葉県の新川にNとS両名人がやって来た。

新川は、千葉県の印旛沼から八千代市を通り、花見川へと流れており、水深は平均2~3mと格好の深さもあり、川幅も広くて好釣り場が点在している。鯉は60~70cm台が多いが、メータークラスもいて気軽に鯉釣りが楽しめる釣り場である。

N名人は、サツマイモ独特の甘味と粘りがあり、エサ取りに強い「鯉武蔵」とやはり大鯉の好むサツマイモを大量に配合した「鯉将」、それに比重のある麦が沈下して底に残る「スーパー鯉むぎ」の配合エサを使い、そしてS名人は「鯉師」と大粒のイモチップなど、植物性素材中心の「イモ吸い込み」の配合エサを使って鯉を狙う作戦である。

9月10日早朝、国道16号線にある「道の駅やちよ」で地図を見ながら新川のポ



## N名人の吸い込みダンゴの作り方



市販の吸い込み仕掛けの13号をダンゴに埋め込む



サラッとよくなき混ぜる



「鯉武蔵」200ccカップ2杯をエサボウルに入れる



1本のハリだけに「くわせコーン」を付ける



それに水カップ2杯を入れる



「鯉将」カップ2杯をエサボウルに入れる



N名人は「鯉武蔵」「鯉将」「スーパー鯉むぎ」を使った



全体が均一になるようにかき混ぜて完成です



「スーパー鯉むぎ」カップ1杯をエサボウルに入れる



ベースエサの「鯉武蔵」にはさつまいもが大量に入っている



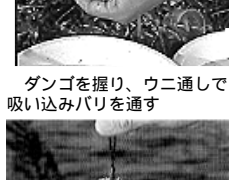
ダンゴを握り、ウニ通しで吸い込みバリを通す



それに水カップ1.2杯を入れる



「鯉師」100ccカップ3杯をエサボウルに入れる



1本のハリだけに「手づくり芋」を付ける



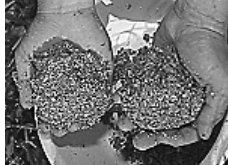
全体が均一になるようにかき混ぜて完成です



「イモ吸い込み」カップ2杯をエサボウルに入れる



大物狙いS名人は「鯉師」と「イモ吸い込み」に「手づくり芋」のくわせを使用した



100ccカップでの分量はダンゴ2個分です



サラッとよくなき混ぜる



「鯉師」には「手づくり芋」の粒がたっぷり配合されている

さて、今回の配合エサ作りですが、まず、N名人の「鯉武蔵」「鯉将」「スーパー鯉むぎ」を使った吸い込みダンゴ作りから紹介しましょう。

「鯉武蔵」200ccカップ2杯、「鯉将」カップ2杯、「スーパー鯉むぎ」カップ1杯をエサボウルに入れ、サラッとよくなき混ぜる。それに水カップ2杯を入れ、全体が均一になるようにかき混ぜて完成です。

くわせには、パックも変わりリニユー

アルした新製品の「くわせコーン」を使用します。これは今までの「くわせコーン」と違い、一粒ずつ手もぎした尖帽付きコーンなので中身が出ず、エサ持ちが良く長時間待てる大物狙いに効果的なくわせエサです。

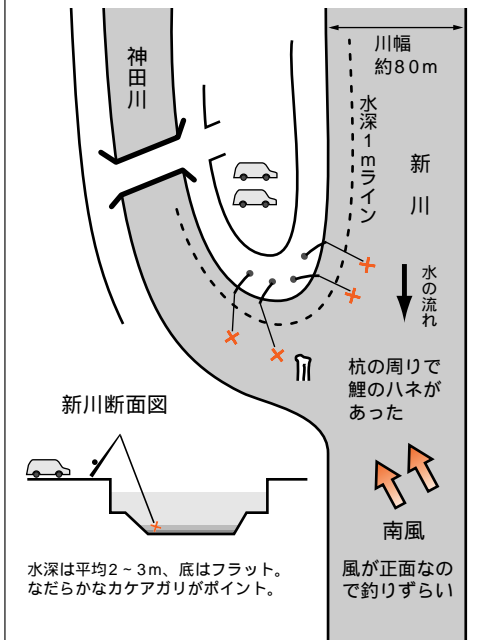
大物狙いS名人の配合エサの作り方は「鯉師」100ccカップ3杯、「イモ吸い込み」カップ2杯をエサボウルに入れ、サラッとよくなき混ぜる。それに水カップ

2個分の分量です。

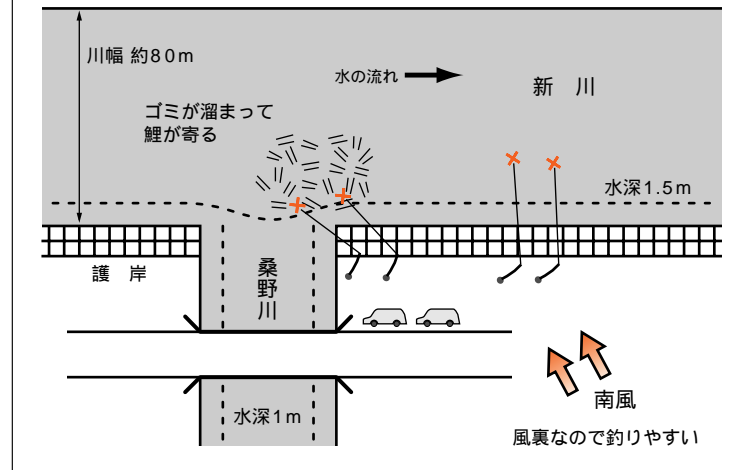
S名人は吸い込みバリ5本のうち1本に「手づくり芋」のくわせを使用しました。

ブ12杯を入れ、全体が均一になるようにかき混ぜて完成です。（この量がダンゴ2個分の分量です）

## 神田川合流点のポイント



## 桑野川吐き出しポイント





第4回 簡単な仕掛けとエサで鯉釣りを楽しもう!



リニューアルした新製品の「くわせコーン」は一粒ずつ手もぎの尖帽付きで、コーンの中身が出ず長時間待てる大物狙いのくわせエサだ

ここは足場が良く竿も出しやすいが、ブルーギルが多そうである。まず最初に吸い込み釣りで釣れたのはマブナで、手づくり芋」に食ってきた。時々、鈴が鳴りアタリがあってもハリ掛かりせず、本命の鯉はまだ姿を見せない。

吸い込みダンゴを打ち換える時、エサ取りのジャミが多いのか？N名人の仕掛けのラセンの中間にすら、エサが残っていないかった。新川はブルーギルが多い。その猛攻を防ぎ大物を狙うにはエサ持ちの良い大粒のイモチップが入った「イモ吸い込み」など植物性の匂いの少ない配合エサを使った方が確率が高い。それで植物系で勝負した二人だったのだが。

釣り場を決定した二人はまずオモリで底を探った。その結果、岸から約20mくらい沖に水深1mラインのカケアガリがあると判断、そのポイントにセオリーどおりに寄せエサを数個打って鯉を寄せる作戦に出た。

鈴でアタリを取る時はどうしても竿を垂直近く立てるが、強風で竿が倒れないように竿を45度以下に寝かせた。ミチイトが風の抵抗をなるべく受けられないように竿先を風下方向に向けて竿立てを配置し、それぞれ2本ずつ竿を出した。

鯉仙人のつぶやき

底の探り方はオモリを投げて着水したらミチイトを張り、オモリ(30~40号)が底に着くまでの秒数で測ります。多少の誤差はありますが、1カウント1mくらいの目安で深さを測定します。次にオモリを引きずって底の質を探ります。オモリが沈めば泥底で、ゴツゴツしていれば底が石です。初めは底の状態を把握しづらいので、何度も繰り返して底の感触がつかむことです。ピギナーは見える陸でオモリを引きずって感触を会得すると良いでしょう。



N名人は市販の吸い込み仕掛けの13、14、15号を用意した

今回、N名人は市販の吸い込み仕掛けの13、14、15号を用意、新川は平均50cm前後の鯉が多いというので、13号の吸い込み仕掛けを使用した。オモリもタックルに合わせ亀オモリの20号を使ってみた。S名人は本流の大物狙いなのでラセンなしの大物用市販吸い込み仕掛け14号で巨鯉にチャレンジした。

吸い込みダンゴ投入後、1時間くらいでN名人の鈴が鳴り、ブルーギルをゲット！ブルーギルの繊細なアタリをキャッチするとは恐るべし鈴センサー。吸い込み仕掛けを小さくしたのが裏目に出たのだろうか？

その後、N名人にヘラとマブナを掛け

N、S両名人の吸い込みに依然として鯉のアタリがない。今日はブルーギルとマブナばかりで鯉を拝むことができないのかな？と心配していると水面に流れてきたヨミの回りで鯉がもじった。ヨミの回りにはエサのプランクトンもあって鯉がいるので期待が持てると思っていた矢先、ついに本命の鯉がヒットした。

N名人に待望の鯉が釣れた時間は午後1時20分。また夕まずめまでは時間があるので、ダンゴエサの交換時間を30分より早くして勝負に出た。

それが良かったのか？2時過ぎにN名人に55cmの鯉が釣れた。食ったエサは吸

鯉仙人のつぶやき

アタリがあってもハリ掛かりしないことがあるのは吸い込み釣りが向こう合わせの釣りだからです。鯉がエサと一緒にハリを吸い込んだ時、ハリがよく掛かるようにハリ先は常にチェックすること。くわせバリにエサを着ける場合はハリ先を出すの良い。またオモリが軽かったり、移動式仕掛けてハリの移動が緩すぎるとハリ掛かりが悪くなります。

合わせたようなマブナが、新製品の「くわせコーン」にヒットした。

期待した割には鯉のアタリがない。風が強くて仕掛けが安定せず釣りにならないので、釣り場を変更することに決めた。どうやら二人は鯉のハネに翻弄されてしまったようである。

鯉仙人のつぶやき

一般的に風が正面からぶっ付けた方が鯉が釣れると言われますが、必ずしもそうとは限らず風裏で釣れることもあります。風により水が攪拌され水中の酸素量が増え、活性が高まり食い気が出てきます。しかし、気温、水温、鯉の回遊する状況など条件が揃わないと良い釣果は望めません。

再び流れ込みを攻めるという理由で次に移動した場所は桑納川吐き出しだ。そこは見た目にも期待が持てそうな一級ポイントのようである。新川の本流の水の色は茶色に濁っているが、桑納川は水の濁りが少ない。二人は桑納川の吐き出し、新川の水と交わるポイントが釣れそうと判断して竿を出した。



S名人が真剣にオモリで底を探る

水面に流れてきたヨミの回りで、ついに本命の鯉がヒット!





大物狙いのS名人、ラセンなしの大物用吸い込み仕掛けに小型の鯉が...



小型だが本命の鯉に一安心、笑みが溢れる両名人



55cmの鯉を釣ったN名人の満面の笑み

い込みではなく、新発売の「くわせコーン」だった。30分で竿を上げても仕掛けにエサが残っていないのではアタルはずがない。エサ取りのブルーギルの猛攻にやる気を削がれていたN名人は、ここが勝負時と岸寄りから鯉がヒットした沖目のポイントに遠投し、手返しよくエサ交

換して竿先に集中した。その後M名人の竿にアタリが頻繁にあり、「くわせコーン」がエサ取りが多い時には効力を発揮することが証明された。

N名人に連続して中、小型の鯉がヒット！やはり「鯉武蔵」「鯉将」「スーパー鯉むぎ」の植物系の配合エサがブルーギルなどのエサ取りに効果的のようである。

「鯉師」と「イモ吸い込み」、くわせには「手づくり芋」を使用したS名人の竿にヒット！今日はN名人にすっかりお株を奪われた形のS名人によつやく希望の鯉が釣れた。「鯉師」にはさつまいもチップが配合されているので、くわせエサの「手づくり芋」とのマッチング効果が出たようだ。大物狙いのS名人が、さあこれからと意気込んだのに風がピタリと止み、ベタナギでアタリがばったり途絶えてしまった。

タまずめまで粘って頑張り、大物を狙いたいところだが、鯉の型をみることでできたのと道路が混むので早めに撤収す

今回、移動後の釣果は鯉5、ヘラブナ2、マブナ1の釣果であった  
 今回の釣果は鯉5、ヘラブナ2、マブナ2、という結果であった。残念ながら鯉の大物は釣れなかったが、実りの秋は植物系で一発大物狙いで勝負して見ると面白いだろう。

